

コクサイ・ケイマン・トラスト -

# 米ドル建 米ドルヘッジ 国際・キャピタル 日本株式オープン 豪ドル建 豪ドルヘッジ 国際・キャピタル 日本株式オープン

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

愛称:KCジャパン

## 交付運用報告書

作成対象期間 第6期  
(2018年10月1日～2019年9月30日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJ  
インベスターサービス銀行S.A.

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー  
証券株式会社

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、コクサイ・ケイマン・トラスト - 米ドル建 米ドルヘッジ 国際・キャピタル 日本株式オープン (以下「米ドル建 米ドルヘッジ」ということがあります。)および豪ドル建 豪ドルヘッジ 国際・キャピタル 日本株式オープン(以下「豪ドル建 豪ドルヘッジ」ということがあります、米ドル建 米ドルヘッジと総称してまたは個別に「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第6期の決算を行いました。各サブ・ファンドの投資目的は、主としてわが国の金融商品取引所に上場している株式等(これに準ずるものを含みます。)に投資するコクサイ・トラストージャパン・エクイティ・マスター・ファンド(以下「投資先ファンド」といいます。)の各クラス受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指すことです。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第6期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
米ドル建 米ドルヘッジ	0.009148米ドル	32,462,961.35米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジ	0.009032豪ドル	23,022,655.00豪ドル
第6期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジ	-11.15%	0.000596米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジ	-12.30%	0.000509豪ドル

(注1) 1口当たり純資産価格、純資産価額および騰落率は、評価日付で公表された1口当たり純資産価格、純資産価額およびこれらに基づき計算された騰落率を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているサブ・ファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下同じです。

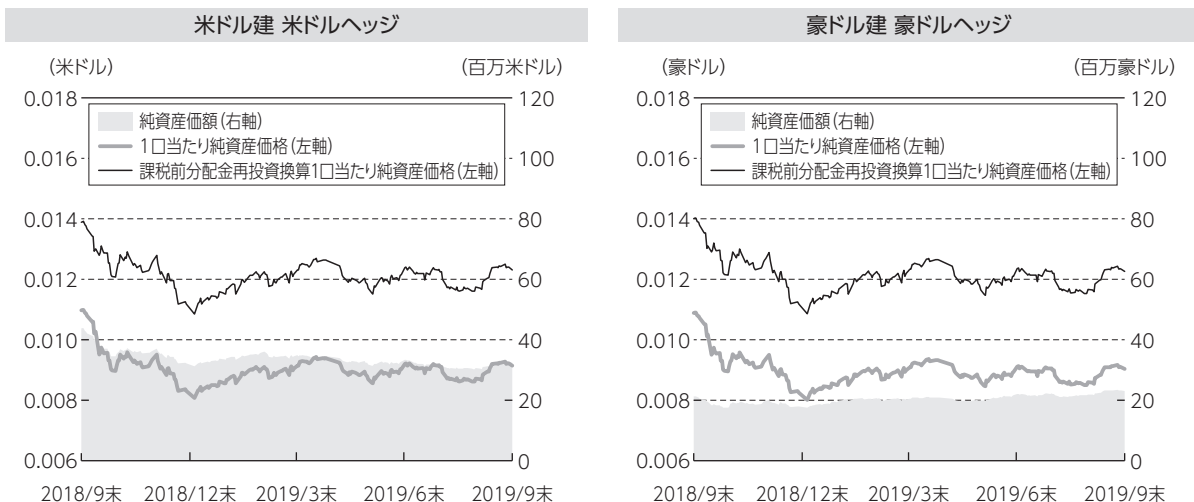
(注2) 騰落率は、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出した評価日付の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

## 《運用経過》

### 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

- (注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したもので、サブ・ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。  
 (注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、運用開始日(2014年2月19日)の受益証券1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。  
 (注3) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注4) サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。



	第5期末の 1口当たり純資産価格:	第6期末の 1口当たり純資産価格:	第6期中の 1口当たり分配金合計額:	騰落率:
米ドル建 米ドルヘッジ	0.010941米ドル	0.009148米ドル	0.000596米ドル	-11.15%
豪ドル建 豪ドルヘッジ	0.010850豪ドル	0.009032豪ドル	0.000509豪ドル	-12.30%

### ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

#### 米ドル建 米ドルヘッジ

- ・ 投資先ファンドの組入銘柄(ソフトバンクグループや、SBIホールディングスなど)の株価下落が1口当たり純資産価格の下落要因となりました。
- ・ 投資先ファンドにおける円売り/米ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が、1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。

#### 豪ドル建 豪ドルヘッジ

- ・ 投資先ファンドの組入銘柄(ソフトバンクグループや、SBIホールディングスなど)の株価下落が1口当たり純資産価格の下落要因となりました。
- ・ 投資先ファンドにおける円売り/豪ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が、1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。

【費用の明細】

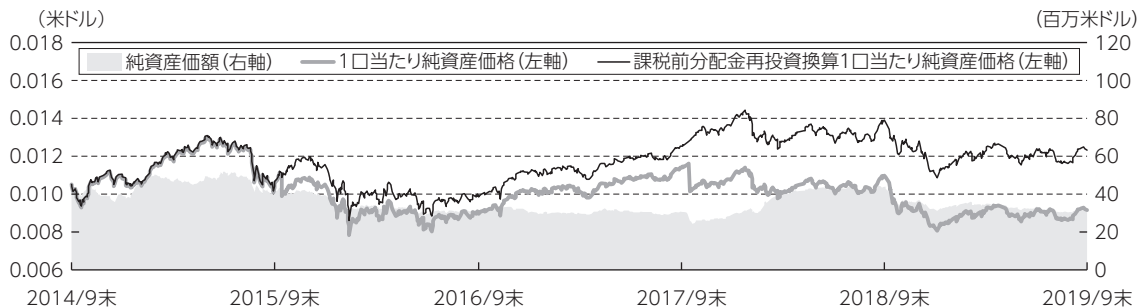
項目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.04%	信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
投資顧問報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.35%	投資顧問契約に基づく投資顧問業務の対価として、投資顧問会社に支払われます。
受託報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.01% (各サブ・ファンドにつき最低年間10,000米ドル)	信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
管理事務代行報酬 および 名義書換事務代行報酬	各サブ・ファンドの純資産価額 対純資産価額の料率 5億米ドル／5億豪ドルまでの部分について 年率0.05% 5億米ドル／5億豪ドル超 年率0.04% 10億米ドル／10億豪ドルまでの部分について 年率0.04% 10億米ドル／10億豪ドル超の部分について 年率0.03% (各サブ・ファンドにつき最低月間3,750米ドル)	管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務および名義書換事務代行業務の対価として、管理事務代行会社兼名義書換事務代行会社に支払われます。
保管報酬	合意済の取引手数料の支払、適切な裏付けのある立替費用の払戻しを受けます。	保管契約に基づく保管業務の対価として、保管会社に支払われます。
販売報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.70%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	各サブ・ファンドの純資産価額の年率0.05%	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用(当期)	米ドル建 米ドルヘッジについては0.32% 豪ドル建 豪ドルヘッジについては0.54%	サブ・ファンドの設立に関する費用、投資関連費用、運営費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等を含みます。)、およびその他すべての管理費用として支払われます。

(注1)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を各サブ・ファンドの財務書類に記載された当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、サブ・ファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

**【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】**

**米ドル建 米ドルヘッジ**



	第1期末 2014年9月末日	第2期末 2015年9月末日	第3期末 2016年9月末日	第4期末 2017年9月末日	第5期末 2018年9月末日	第6期末 2019年9月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.010495	0.010327	0.008957	0.011399	0.010941	0.009148
1口当たり分配金額 (米ドル)	該当事項なし	0.000080	0.000896	0	0.001538	0.000596
騰落率 (%)	4.95	-0.77	-5.41	27.26	10.53	-11.15
純資産価額 (米ドル)	44,186,349.34	40,363,459.59	31,348,844.05	30,702,750.10	43,742,366.88	32,462,961.35

(注)米ドル建 米ドルヘッジにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

**豪ドル建 豪ドルヘッジ**



	第1期末 2014年9月末日	第2期末 2015年9月末日	第3期末 2016年9月末日	第4期末 2017年9月末日	第5期末 2018年9月末日	第6期末 2019年9月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.010575	0.010312	0.008939	0.011481	0.010850	0.009032
1口当たり分配金額 (豪ドル)	該当事項なし	0.000160	0.000898	0	0.001626	0.000509
騰落率 (%)	5.75	-0.84	-5.44	28.44	9.65	-12.30
純資産価額 (豪ドル)	12,815,411.11	12,592,355.00	17,763,689.30	14,388,854.54	21,235,298.34	23,022,655.00

(注)豪ドル建 豪ドルヘッジにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 【投資環境について】

国内株式市場は、当期を通してみると下落しました。

当期の初めから2018年12月にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、中国の景気悪化懸念が高まったことなどから国内株式市場は下落しました。

2019年1月から4月にかけては、米中通商協議進展への期待や、米連邦公開市場委員会 (FOMC) の議事録から年内の利上げ打ち止めの観測が高まったことなどを背景に上昇しました。

5月以降は、トランプ米大統領が中国に対する関税引き上げを表明したことなどから下落する局面があった一方で、米国の利下げ期待が高まったことや、中国が米国に対する関税の対象から一部製品を除外すると発表したことなどが上昇要因となり、レンジ内の推移となりました。

## 【ポートフォリオについて】

サブ・ファンドは、投資先ファンドの各クラス受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。以下は、投資先ファンドのポートフォリオに関する説明です。

- ・投資先ファンドでは、わが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。
- ・TOPIX<sup>®</sup>配当込み指数をベンチマークとし円ベースで超過収益の獲得を目指しました。
- ・企業の収益性、成長性、安定性などを総合的に勘案して銘柄の選定を行いました。
- ・ファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選択により超過収益の獲得を目指すボトムアップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行いました。
- ・複数のポートフォリオ・マネージャーで構成する運用体制を通じて、投資対象やアイデアの分散を図り、安定的かつ継続的な運用成果の獲得を目指しました。
- ・その結果、ソフトバンクグループや、SBIホールディングスなどの株価下落が投資先ファンドにマイナスに影響しました。

### (米ドル建 米ドルヘッジクラス)

- ・投資先ファンドの米ドル建 米ドルヘッジクラスにおいては、その円建の組入資産について、かかる円資産が実質的に米ドル建となるように円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。円売り／米ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が1口当たり純資産価格に対してプラスに寄与しました。

### (豪ドル建 豪ドルヘッジクラス)

- ・投資先ファンドの豪ドル建 豪ドルヘッジクラスにおいては、その円建の組入資産について、かかる円資産が実質的に豪ドル建となるように円売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。円売り／豪ドル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が1口当たり純資産価格に対してプラスに寄与しました。

## 【分配金について】

当期(2018年10月1日～2019年9月30日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

### 米ドル建 米ドルヘッジ

(金額:米ドル)

分配落日 <sup>(注1)</sup>	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注2)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注3)</sup>
2018/10/15	0.009512	0.000596 (5.90%)	-0.000036

(注1)「分配落日」には、分配方針に基づき当該日における分配が可能であったが実際には分配金が支払われなかった日を含みます。以下同じです。

(注2)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、サブ・ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率(\%)} = 100 \times a / b$$

$$a = \text{当該分配落日における1口当たり分配金額}$$

$$b = \text{当該分配落日における1口当たり純資産価格} + \text{当該分配落日における1口当たり分配金額}$$

以下同じです。

(注3)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

$$b = \text{当該分配落日における1口当たり純資産価格} + \text{当該分配落日における1口当たり分配金額}$$

$$c = \text{当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格(当該分配落日における分配がサブ・ファンドの最初の分配である場合には、1口当たり当初発行価格(米ドル建 米ドルヘッジについては0.01米ドル、また豪ドル建 豪ドルヘッジについては0.01豪ドル))}$$

以下同じです。

(注4)2018年10月15日の直前の分配落日(2017年10月16日)における1口当たり純資産価格は、0.010144米ドルでした。

### 豪ドル建 豪ドルヘッジ

(金額:豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2018/10/15	0.009511	0.000509 (5.08%)	-0.000126

(注)2018年10月15日の直前の分配落日(2017年10月16日)における1口当たり純資産価格は、0.010146豪ドルでした。

## 《今後の運用方針》

### ●投資環境見直し

国内景気は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で目先の落ち込みが想定されるものの、大規模な経済対策が想定されることもあり、感染拡大が終息すれば回復基調への回帰が見込まれます。物価については、短期的には景況感の悪化や原油価格の下落などが物価上昇率を押し下げるとみています。また世界的な金融緩和の影響もあり、低金利環境は長期化する見通しです。企業業績は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で短期的には減益、あるいは赤字に陥る企業もあるとみられますが、感染拡大の終息後は国内外景気の緩やかな拡大、企業の収益性改善などから回復基調で推移するとみています。一方、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の動向、米中通商交渉の進展、為替市場の動向次第では見通しが再び不透明化することも想定されます。国内株式市場のバリュエーション(株価評価)は、他の主要市場との比較、歴史的な比較双方で見て依然として割安な水準にあり、コーポレートガバナンスや株主還元の改善、株主資本利益率(ROE)の上昇につれ見直されることが期待されます。また、株式市場の配当利回りと長期金利が引き続き乖離傾向にある点もバリュエーションを支える要因となるとみています。リスク要因としては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による景気や企業活動の停滞のほか、金融緩和競争に起因する為替変動、原油価格の急激な変動、中国経済の構造調整などが考えられます。

### ●今後の運用方針

引き続き、投資先ファンドを通じて、主としてわが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。

投資先ファンドは、以下の運用方針に基づき運用を行います。

#### (米ドル建 米ドルヘッジクラス)

- ・引き続き、主としてわが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)に投資を行います。
- ・TOPIX®配当込み指数をベンチマークとし円ベースで超過収益の獲得を目指します。また、円建の組入資産について、原則としてかかる円資産が実質的に米ドル建となるように円売り/米ドル買いの為替取引を行います。
- ・企業の収益性、成長性、安定性などを総合的に勘案して銘柄の選定を行う方針です。
- ・ファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選択により超過収益の獲得を目指すボトムアップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行う方針です。
- ・複数のポートフォリオ・マネージャーで構成する運用体制を通じて、投資対象やアイデアの分散を図り、安定的かつ継続的な運用成果の獲得を目指す方針です。
- ・上述の投資環境では、株価バリュエーションと企業の中長期的な収益成長の検討等により、外部環境に左右されにくいポートフォリオを構築することが重要と考えています。引き続き、企業訪問を中心とした情報収集や銘柄ごとの投資判断を重視した運用に努めます。

#### (豪ドル建 豪ドルヘッジクラス)

- ・引き続き、主としてわが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)に投資を行います。
- ・TOPIX®配当込み指数をベンチマークとし円ベースで超過収益の獲得を目指します。また、円建の組入資産について、原則としてかかる円資産が実質的に豪ドル建となるように円売り/豪ドル買いの為替取引を行います。
- ・企業の収益性、成長性、安定性などを総合的に勘案して銘柄の選定を行う方針です。
- ・ファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選択により超過収益の獲得を目指すボトムアップ・アプローチをベースとしたアクティブ運用を行う方針です。
- ・複数のポートフォリオ・マネージャーで構成する運用体制を通じて、投資対象やアイデアの分散を図り、安定的かつ継続的な運用成果の獲得を目指す方針です。
- ・上述の投資環境では、株価バリュエーションと企業の中長期的な収益成長の検討等により、外部環境に左右されにくいポートフォリオを構築することが重要と考えています。引き続き、企業訪問を中心とした情報収集や銘柄ごとの投資判断を重視した運用に努めます。

## 《お知らせ》

該当事項はありません。

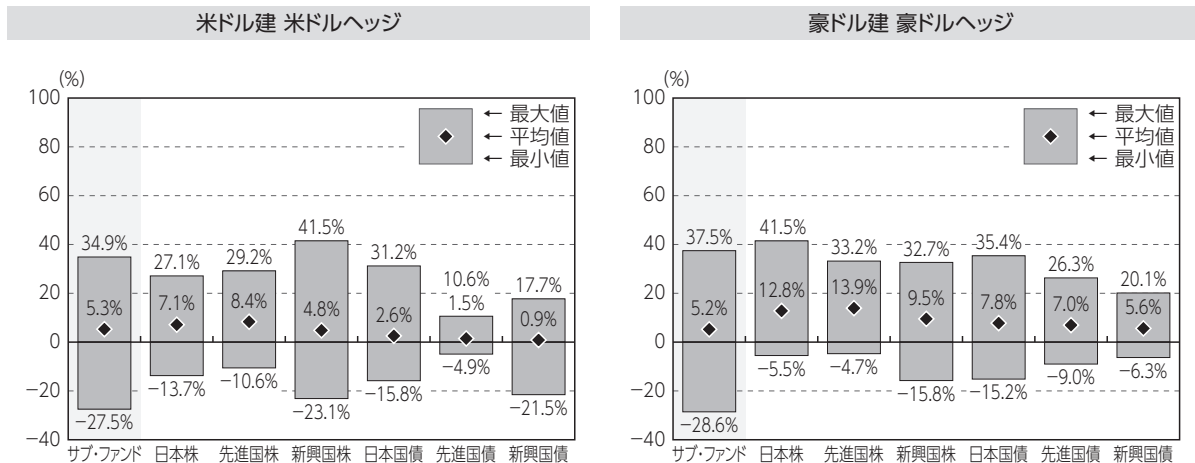
## 《サブ・ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型	
信託期間	各サブ・ファンドは、原則として2024年9月30日に終了します。ただし、定められた方法により早期に終了することがあり、または、管理会社が受託会社と協議の上管理会社の裁量により、もしくは管理会社および受託会社の同意の上サブ・ファンドの受益者決議により、存続期間を延長することがあります。 (注)各サブ・ファンドの存続期間は、管理会社により、2024年9月30日まで延長されました。	
運用方針	各サブ・ファンドの投資目的は、主としてわが国の金融商品取引所に上場している株式等(これに準ずるものを含みます。)に投資する投資先ファンドの各クラス受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指すことです。	
主要投資対象	サブ・ファンド	コクサイ・トラスト –ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス –ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス
	コクサイ・トラスト –ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス –ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス	わが国の金融商品取引所上場株式等(これに準ずるものを含みます。)
サブ・ファンドの運用方法	ケイマン諸島籍の投資信託であるコクサイ・トラストのサブ・ファンドである投資先ファンドに投資することにより運用します。	
分配方針	管理会社は、その裁量により、経費控除後の利子・配当等収益、売買益(評価益を含みます。)および分配可能な元本から毎年10月14日(または、当該日が営業日でない場合には翌営業日)に分配を宣言することができます。	



(参考情報)

● サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※全ての資産クラスがサブ・ファンドの投資対象とは限りません。

※2015年2月から2020年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、サブ・ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフは、サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

米ドル建 米ドルヘッジ

- 日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)
  - 先進国株 … MSCI-KOKUSA1指数 (配当込) (米ドルベース)
  - 新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)
  - 日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)
  - 先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)
  - 新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (米ドルベース)
- ※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

豪ドル建 豪ドルヘッジ

- 日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)
  - 先進国株 … MSCI-KOKUSA1指数 (配当込) (豪ドルベース)
  - 新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)
  - 日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)
  - 先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)
  - 新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド
- ※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

## 《ファンドデータ》

### 【サブ・ファンドの組入資産の内容】(2019年9月30日現在)

#### 米ドル建 米ドルヘッジ

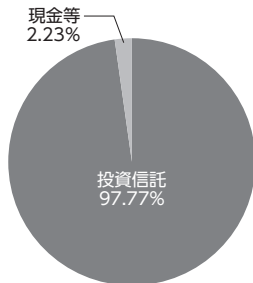
##### ● 組入上位資産

(組入銘柄数: 1銘柄)

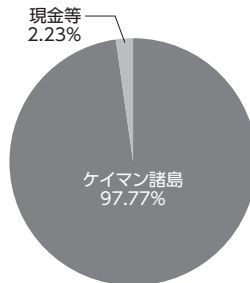
	組入比率
コクサイ・トラストー ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジクラス	97.77%

(注) 上記の組入比率は、サブ・ファンドの純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。純資産価額および組入資産の評価額は、評価日付で公表または計算されたものを用いており、運用報告書(全体版)に記載されているサブ・ファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下、別段の記載がない限り同じです。

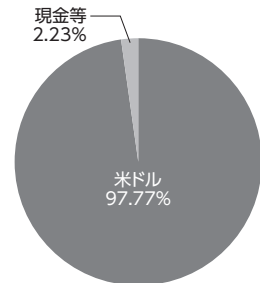
##### ● 資産別配分



##### ● 国・地域別配分



##### ● 通貨別配分



(注) 当期末の組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。以下同じです。

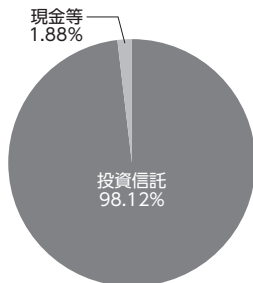
#### 豪ドル建 豪ドルヘッジ

##### ● 組入上位資産

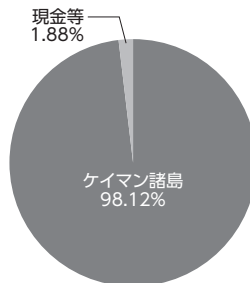
(組入銘柄数: 1銘柄)

	組入比率
コクサイ・トラストー ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジクラス	98.12%

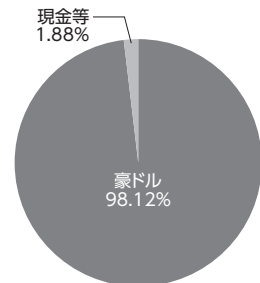
##### ● 資産別配分



##### ● 国・地域別配分



##### ● 通貨別配分



【純資産等】

第6期末			
	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジ	32,462,961.35米ドル	3,548,452,712口	0.009148米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジ	23,022,655.00豪ドル	2,548,985,927口	0.009032豪ドル

(単位:口)

第6期中			
	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジ	473,750,313 (473,750,313)	923,465,534 (923,465,534)	3,548,452,712 (3,548,452,712)
豪ドル建 豪ドルヘッジ	854,939,048 (854,939,048)	263,170,413 (263,170,413)	2,548,985,927 (2,548,985,927)

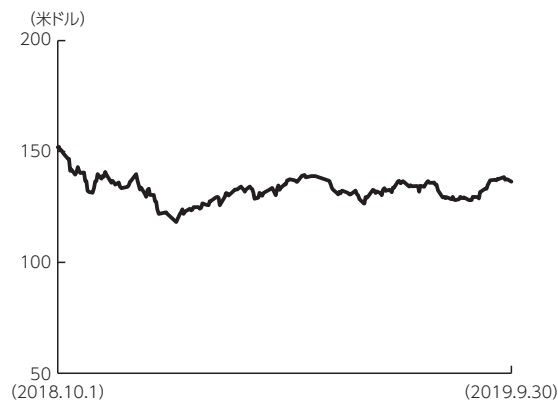
(注) ( )の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【投資先ファンドの概要】(2018年10月1日～2019年9月30日)

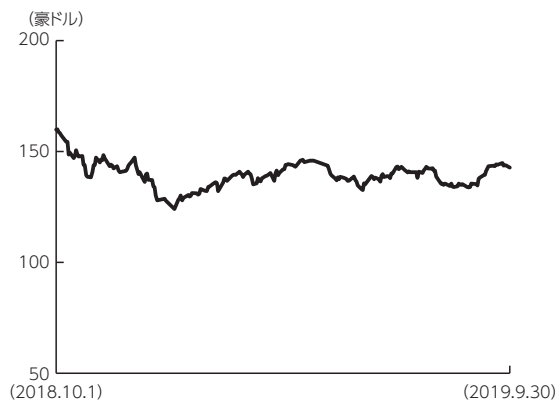
コクサイ・トラスト – ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス  
 – ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス

●1口当たり純資産価格の推移

コクサイ・トラスト –  
 ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 米ドル建 米ドルヘッジ クラス



コクサイ・トラスト –  
 ジャパン・エクイティ・マスター・ファンド 豪ドル建 豪ドルヘッジ クラス



● 投資先ファンド保有銘柄情報  
(組入銘柄数: 84銘柄)

上位保有10銘柄	対純資産価額比率
株式会社キーエンス	4.36%
信越化学工業株式会社	4.18%
塩野義製薬株式会社	4.15%
ソフトバンクグループ株式会社	4.06%
SMC株式会社	3.73%
株式会社ファーストリテイリング	3.54%
株式会社ニトリホールディングス	3.36%
ユニ・チャーム株式会社	3.02%
株式会社ダイフク	2.37%
株式会社コスモス薬品	2.35%

(2019年9月30日現在)

(注) 上記の対純資産価額比率は、投資先ファンドの純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。

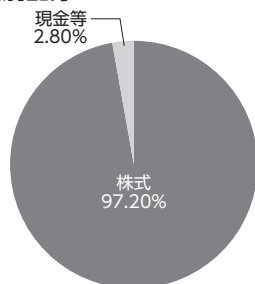
● 投資先ファンド費用の明細

(2018年10月1日～2019年9月30日)

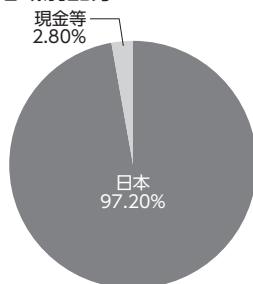
項目	項目の概要								
受託報酬	最低年間報酬約10,000米ドルならびに追加時間分の報酬、経費および当初費用等に加え、投資先ファンドの純資産価額の年率0.01%								
投資運用報酬および 為替管理代理人報酬	投資先ファンドの純資産価額の年率0.64%								
管理事務代行報酬	<table border="1"> <thead> <tr> <th>投資先ファンドの純資産価額</th> <th>料率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5億米ドルまでの部分について</td> <td>年率0.09%</td> </tr> <tr> <td>5億米ドル超 10億米ドルまでの部分について</td> <td>年率0.08%</td> </tr> <tr> <td>10億米ドル超の部分について (最低月間報酬3,750米ドル)</td> <td>年率0.07%</td> </tr> </tbody> </table>	投資先ファンドの純資産価額	料率	5億米ドルまでの部分について	年率0.09%	5億米ドル超 10億米ドルまでの部分について	年率0.08%	10億米ドル超の部分について (最低月間報酬3,750米ドル)	年率0.07%
投資先ファンドの純資産価額	料率								
5億米ドルまでの部分について	年率0.09%								
5億米ドル超 10億米ドルまでの部分について	年率0.08%								
10億米ドル超の部分について (最低月間報酬3,750米ドル)	年率0.07%								
その他の費用	0.18%								

(注) 各報酬については、投資先ファンドの目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

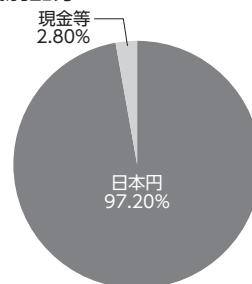
● 資産別配分



● 国・地域別配分



● 通貨別配分



(2019年9月30日現在)

(注) 上記の比率は、投資先ファンドの純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とされない場合があります。